

KGAGOLFER'S NEWS

2026 秋号 No.150

一般社団法人 関東ゴルフ連盟



別冊
付録

保存
版

2026年 関東倶楽部対抗
2026年 関東女子倶楽部対抗

出場全倶楽部 競技成績



長尺パターのすべての選手に、同志として心からのエール

「ああ、バーディー取れなくて残念。まあまあスタートだな」
そう思って、「お先に」のバットを打とうとしたあの瞬間。突然手が震えだし、手が全く動かなくなった。プルプルと震える手で動かしただけ、カチッという音がしたかと思ったら、わずか30cmのバットが15cm以上ショートした。
もう、何がなんだか分からなかった。この日のその後の事は、全く記憶がない。覚えていたのは、翌日、長尺パターを長年使っている友人のところへ、話を聞きに行ったことだけだ。
2011年。ホームコースで開催された日本オープン1次予選。度胸試しにとエントリーした試合の、スタートホールである10番グリーンでの出来事だ。私のパターイップスは、この日に始まった。
一口に長尺パターと言っても、そう簡単に使える様になる訳ではない。確かに、ショートパットで手が動かない事はなくなったけれど、だからと言って、パターがいきなり上手になる事はない。練習グリーンで、パターの練習に明け暮れた。そして、やっと使える様になってきた2012年。関東アマも予選を突破してブロック大会に進出し、決勝まであと2打と、調子も上がってきた。
そんなある日、ニュースが飛び込ん

できた。

「アンカリング禁止」

青天の霹靂だった。

「長尺パターが使えない!」

それまで長尺パターを使っていたプロが、皆こぞって短尺パターに変更し始めた。そして、マスターズチャンピオンのアダム・スコットが長尺から短尺に持ち替えたのをテレビで見た時、私の中で、ゴルフに対する糸がプチッと切れてしまった。
「短尺パターしか使えないのでは、僕はゴルフは無理だ・・・」
2013年の初春にラウンドしたのを最後に、私は約10年間、クラブを握らなくなった。
ご存じの通り、禁止されたのはクラブやグリップを体に固定するアンカリングであって、長尺パター自体ではない。今でも多くのプロが長尺パターを使っている。しかし、あれだけのプロたちが次々と短尺に持ち替えていくのを見せられて、私はすっかり「長尺は終わった」と思い込んでしまった。そして、その思い込みによって、私は10年ものゴルフライフを失ったことになる。

そんな私に転機が訪れたのは2023年。嫁さんが、何を思ったのか「ゴルフをやりたい!」と言い出したのだ。10年以上のブランクで飛距離は40ヤードほど落ち、スコアも下手をすると100を打つようなゴルフになってしまったが、それでも、やはり

ゴルフはめちゃくちゃ楽しい。

ラウンドの日は朝5時にアプローチ練習場に着いて、6時半からショット、8時からスタートまでパター練習。まだまだスコアはイマイチだが、それでも1打でも縮めたいと思っている。

男子倶楽部対抗のAクラスでは、同じ組の4人のうち、3人が長尺パターという組も珍しくない。一方、Bクラスを見ると、長尺はめったに見かけない。この差は、技術でも流行でもない。あの長いシャフトは、それぞれが重ねてきた歳月のしるしだ。

ゴルフは続ければ続けるほど易しくなる競技ではない。むしろ経験を重ねるほど見えるものが増え、悩みは深くなっていく。長尺に替える、クロスハンドにする、グリップを太くする、体調を整える、練習の順番を入れ替える。シニアの選手たちは、たった1打を減らすために、驚くほど細かい工夫を重ねている。そして、その一つひとつに、裏切られてきた回数が刻まれている。

競技会場で、長いパターを構えている選手を見かけたら、それは何かを諦めた人の姿ではない。何度も裏切られながら、それでもまだ1打を削るうとして、必死に頑張っている選手の姿です。

今日もどこかのグリーンで、1メートルに向き合っているすべての選手に、同志として、心からのエールを送ります。
(菅又康倫委員)

関東倶楽部対抗特集号

1 ティーイングエリア

決勝競技

2 関東女子倶楽部対抗 (日光カンツリー倶楽部)

予選競技

6 新潟会場 (日本海カンツリークラブ 西・中コース)

7 長野会場 (穂高カンツリークラブ)

8 山梨会場 (オリムピックカンツリークラブ フジザクラ・ハナミスキコース)

9 群馬会場 (草津カンツリークラブ)

10 栃木会場 (宇都宮カンツリークラブ 北・中コース)

11 茨城第1会場 (美浦ゴルフ倶楽部)

12 茨城第2会場 (PGM石岡ゴルフクラブ)

13 埼玉会場 (東松山カンツリークラブ 東・中コース)

14 千葉第1会場 (鶴舞カンツリー倶楽部 東コース)

15 千葉第2会場 (千葉夷隅ゴルフクラブ 西・東コース)

16 東京会場 (府中カンツリークラブ)

17 神奈川会場 (東京カンツリー倶楽部 東OUT・東INコース)

18 静岡会場 (沼津ゴルフクラブ 愛鷹・伊豆コース)

19 決勝会場トピックス インサイドストーリー

決勝競技

24 関東倶楽部対抗 (鶴舞カンツリー倶楽部 西・東コース)

予選競技

28 新潟第1会場 (湯田上カンツリークラブ 紫陽花・信濃川コース)

29 新潟第2会場 (櫛形ゴルフ倶楽部)

30 長野会場 (上田丸子グランヴィリオゴルフ倶楽部 みまき・ふじコース)

31 山梨会場 (レイク相模カンツリークラブ)

32 群馬第1会場 (妙義カンツリークラブ)

33 群馬第2会場 (サンコーカンツリークラブ 東コース)

34 栃木第1会場 (塩原カンツリークラブ 南・北コース)

35 栃木第2会場 (那須小川ゴルフクラブ)

36 栃木第3会場 (レイクランドカンツリークラブ)

37 茨城第1会場 (ワンウェイゴルフクラブ)

38 茨城第2会場 (アスレチックガーデンゴルフ倶楽部)

39 茨城第3会場 (セントラルゴルフクラブ 麻生コース)

40 埼玉第1会場 (飯能グリーンカンツリークラブ)

41 埼玉第2会場 (飯能ゴルフクラブ)

42 千葉第1会場 (紫カンツリークラブ すみれコース)

43 千葉第2会場 (成田ゴルフ倶楽部)

44 千葉第3会場 (平川カンツリークラブ)

45 千葉第4会場 (PGMマリアゴルフリンクス)

46 東京会場 (GMG八王子ゴルフ場 南・東コース)

47 神奈川第1会場 (横浜カンツリークラブ 西コース)

48 神奈川第2会場 (相模野カンツリー倶楽部 愛川・相模コース)

49 静岡会場 (沼津ゴルフクラブ 愛鷹・伊豆・駿河コース)

50 決勝会場トピックス インサイドストーリー

20 FAIRWAY COLLECTION

51 連載 ルールQ&A

52 COLUMN

53 INFORMATION

保存版 別冊付録

2026年関東倶楽部対抗／関東女子倶楽部対抗
出場全倶楽部競技成績



表紙は、関東倶楽部対抗V6の「新千葉カンツリー倶楽部」と関東女子倶楽部対抗初Vの「南長野ゴルフ倶楽部」の集合写真です。両競技の興味深い情報をお読みください。

編集／一般社団法人関東ゴルフ連盟広報委員会
 編集長 近藤勇樹 (KGA広報委員長)
 大竹 茂 (KGA広報副委員長)
 岡田美智子 (KGA広報委員)
 久保田昌幸 (KGA広報委員)
 菅又康倫 (KGA広報委員)
 鈴木一也 (KGA広報委員)
 高岡和弘 (KGA広報委員)
 高野佳子 (KGA広報委員)
 戸田光法 (KGA広報委員)
 富澤 仁 (KGA広報委員)
 本條 強 (KGA広報委員)
 池田正一 (KGA広報委員)
 北川外志廣 (KGA広報委員)
 鈴木遍理 (KGA広報委員)
 古谷隆昭 (KGA広報委員)

裏表紙／決勝競技優勝倶楽部
 新千葉カンツリー倶楽部
 南長野ゴルフ倶楽部

決勝競技

関東女子倶楽部対抗

5877yards・Par74
2026年6月19日(金)
●参加倶楽部数：31●競技方法：4名出場、
上位3名の合計スコア
最優秀選手賞
岸田 真衣奈(南長野) 68ストローク
上位5倶楽部
1位 南長野ゴルフ倶楽部／229ストローク
2位 紫雲ゴルフ倶楽部／235ストローク
3位 境川カントリー倶楽部／235ストローク
4位 鹿沼カントリー倶楽部／236ストローク
5位 新千葉カントリー倶楽部／237ストローク



喜びがはじける南長野GCの選手と応援のメンバー、スタッフ



最優秀選手賞の岸田真衣奈選手(左)と同賞に1打及ばなかった妹の紀奈乃選手



関東ゴルフ連盟・吉田裕明理事長から優勝盾を授与される矢島美紀選手

で争う。倶楽部対抗には各チームとも50歳以上の選手を2人登録するルールがあり、20代前半の2人が若さの勢いに乗って爆発してくれば勝機はあると踏んでいた。

試合展開は、果たしてその通りになった。真衣奈選手が6バーディー、ノーボギーの68ストロークをマークすれば、紀奈乃選手は7バーディー、2ボギーの69ストローク。先にホー

決勝競技

関東女子倶楽部対抗

日光カンツリー倶楽部

南長野ゴルフ倶楽部

自他ともに認めるダークホース

結束力で初優勝！

南長野GCの選手。左から、
笠井麻美、岸田紀奈乃、岸田真衣奈、
矢島美紀、野村喜代美、大澤和香奈。

ルアウトした姉が見つめる前で最終9番ホールのバーディーパットを外した妹は、最優秀選手賞を逃して「姉とはスコアが良かった方が夕食をこちそうしてもらおう約束をしていたんです。悔しい」と笑みを浮かべながら振り返った。

「自分の娘のような若い2人が、50代以上の私たちを引っ張ってくれた」と矢島美紀選手。2年前までは予選でも最下位が当たり前だった倶楽部が、有望な若手の加入で一気に活気づいたという。「倶楽部の方たちが全員で盛り上げてくれて、ユニホームもそろえてくれるなど、全面的にバックアップしてくれた。メンバー同士も励まし合ったり、助け合ったり、結束力がとても増したんです」。

姉妹も、温かいチームの空気の中で救われた。昨年のプロテストで2次予選を通過できなかった姉は、再出発に向けて気持ちを切り替える原動力となった。高校卒業後に渡米した妹も「昨年12月に帰国してから結果が出ず、一時はゴルフをやめようと思ったほど落ち込んだ」と言うが、チームに加入してからは周囲の支えで立て直すことができた。

ベテランと若手が見事に融合し、31倶楽部、計124選手が参加した決勝競技の頂点に一気に上り詰めた南長野ゴルフ倶楽部。姉妹は今後、そろってプロテストに挑戦。倶楽部、そしてチームメイトの応援をバックに、未来を切り開く。

(鈴木遍理参与)

2026年の関東女子倶楽部対抗決勝競技は、南長野ゴルフ倶楽部が長野県勢として初の栄冠に輝いた。

自他ともに認めるダークホースの優勝だった。南長野ゴルフ倶楽部は穂高カントリークラブで開催された長野会場予選で、中央道晴ヶ峰カントリー倶楽部に次ぐ2位。平均ストロークは79・5だった。決勝競技の舞台となる日光カンツリー倶楽部は、25年の日本オープンなど数々の試合の舞台となった名門。名匠・井上誠一氏の設計によるコースは日光連山に囲まれた地形を巧みに生かし、フェアウェイの微妙なアンジュレーションや、目の錯覚を誘うグリーンの傾斜などで選手を惑わせる。セッティングの違いこそあれ、7238ヤード、パー70で行われた日本オープンを制した片岡尚之プロの優勝スコアが4日間通算277ストローク(3アンダー)だったことでも、難攻不落のコースであることが分かる。

それでも南長野ゴルフ倶楽部には「優勝争いに絡めるかも」という雰囲気があったそうだ。というのも、これまでチームを引っ張ってきた東京国際大ゴルフ部出身の岸田真衣奈選手(23歳)に加え、今年は妹の紀奈乃選手(21歳)が米国のゴルフ留学から帰国して加入。この姉妹は長野会場予選では、ともに1オーバー、73ストロークで回っていた。同予選は1チーム6人が出場し、上位4人のスコアで競う方式だったが、決勝競技は4人が出場して上位3人のスコア

難病とコロナ後遺症を克服、再び舞台に立った女性ゴルファー



女子倶楽部対抗決勝競技の舞台となった名門の日光カンツリー倶楽部。2017年以来、9年ぶり2度目の開催のその舞台に、上條典子選手は、ホームコースのメンバーとしてももう一度立ちたい一心で、闘病とコロナワクチン後遺症を乗り越えてゴルフに復帰、2度目の出場を果たした。

2009年から日光CCのメンバーになった上條選手は、9年前に開催コース枠で、倶楽部代表として初めて決勝競技に出場した。しかし、コロナ禍以降は免疫性の病気とコロナワクチン後遺症のために、歩けない状態が続いてゴルフからも遠ざかっていた。そんな苦しさの中で、昨年

夏、日光CCが再び倶楽部対抗決勝の開催コースになったことを知った。

「何とかもう一度、あの倶楽部対抗決勝に出たい。そんな気持ちが湧いてきました。体重も20キロぐらい減って、筋肉も落ちていましたが、まず代表メンバーに入るために、頑張ってみよう」と心にきめました。病院の医師にも相談しながら、ゴルフができるようになるために、闘病とリハビリ。そして、代表を決める「スコア取り」のラウンドへ。家族や友人たちの協力を助けられながら懸命に出場した。

決勝競技18ホールを回り終えた上條選手は、どこかすがすがしい表情で戻ってきた。「ギャラリーがいるところでは、すごく気合が入りました。同伴の皆さんともお話ができて、日光CCは素晴らしいですね、と言ってもらえたのが一番うれしかったです。感謝でいっぱいです」。万感の思いが伝わった。

(古谷隆昭参与)

日光カンツリー倶楽部代表選手



高瀬亜希子選手



上條典子選手



津山尚子選手



小澤陽子選手

2026年 関東女子倶楽部対抗決勝競技

令和8年6月19日

主催 (一社) 関東ゴルフ連盟

会場 日光カンツリークラブ

正面に男体山の雄姿を望む1番ホール

テラス席が人気のレストラン

早朝からキラキラと輝いていた日光CC



026年 関東女子倶楽部対抗決勝競技

2位 紫雲ゴルフ倶楽部



2026年 関東女子倶楽部対抗決勝競技

3位 境川カントリー倶楽部



2026年 関東女子倶楽部対抗決勝競技

4位 鹿沼カントリー倶楽部



5位 新千葉カントリー倶楽部



5632yards・Par72
2026年5月29日(金) ●参加倶楽部数：14 ●通過倶楽部数：2 ●競技方法：6名出場、50歳以上の選手を2名以上含めた上位4名の合計スコア
ベストスコア賞
丸山 菜々美(長野国際) 67
上位3倶楽部
1位 中央道晴ヶ峰カントリー倶楽部／315ストローク
2位 南長野ゴルフ倶楽部／318ストローク
3位 上田丸子グランヴィリオゴルフ倶楽部／318ストローク



まぶしい日差しのもと9番グリーン



決勝進出1位 中央道晴ヶ峰カントリー倶楽部



決勝進出2位 南長野ゴルフ倶楽部



練習グリーン風景



競技開始を待つ1番ティー



穂高カントリークラブ

穂高カントリークラブ

コース整備、会場設営とも
スタッフが一丸となって準備

副支配人 丸山大輔氏
穂高カントリークラブは、安曇野市の標高800m高原に位置するコースです。
開催当日朝は雨が降っていたものの、競技開始時には晴れ、その後は天候に恵まれ無事に競技を終えることができました。
開催に向けコースについては、選手の實力が十分に発揮できるよう準備を行い、その他会場設営についてもスタッフが一丸となり準備し、競技運営に携わったことを大変

嬉しく思っております。
当クラブ代表に於いては、昨年の勢いをそのままに決勝に進むことを願っておりましたが、残念ながら決勝進出の夢は叶いませんでした。
決勝進出された代表選手の皆様には、ご健闘をお祈り申し上げます。
最後に、競技開催にあたり関東ゴルフ連盟競技委員、競技関係者様並びに参加倶楽部選手の皆様のご協力に心より御礼申し上げます。

日本海カントリークラブ

新潟県を代表するチャンピオンコース
長年にわたり多くの名勝負の舞台に

西・中コース



競技スタート前の練習グリーン



決勝進出1位 紫雲ゴルフ倶楽部

支配人 金城勝則氏
当クラブは、日本海の渚に広がる松林に囲まれた砂丘地に造られた27ホールのシーサイドコースとして、1973年に開場いたしました。日本海特有の風と自然の地形を巧みに生かしたレイアウトは、ホールごとに異なる表情を見せ、プレーヤーの挑戦意欲を掻き立て、多くのゴルファーの皆様より高い評価をいただいております。
また、過去にNST新潟オープンゴルフ選手権をはじめ、数々の競技を開催してまいりました。
新潟県を代表するチャンピオンコースの一つとして、長年にわたり多くの名勝負の舞台となってお

ります。
競技前日までは天候も心配されましたが、当日は爽やかな青空が広がり、日本海から吹く穏やかな風の中で競技を開催することができました。
早朝は涼しく、時間の経過とともに心地よい陽気となり、選手の皆様には絶好のコンディションの中でプレーいただけたものと思っております。
グリーンコンディションにつきましては、本競技開催に向け、コース管理スタッフが日々丹念に整備を重ねてまいりました。
日本海特有の気候の中、芝の状態を維持しながら、選手の皆様に最高の舞台をご提供できるよう準備を進め、本日を迎



決勝進出2位 湯田上カントリークラブ

えることができました。
日本海カントリークラブとして、関東女子倶楽部対抗新潟会場予選競技を開催できますことを、大変光栄に感じております。
随所で見られた仲間、同士の声掛けや応援は、女子倶楽部対抗ならではの素晴らしい光景であり、本競技の魅力を改めて実感いたしました。
本競技開催にあたり、ご尽力いただきました関東ゴルフ連盟競技委員の皆様、ご参加いただきました選手・関係者の皆様、そして競技運営を支えていただいた全てのスタッフの皆様には、心より御礼申し上げます。



日本海カントリークラブ

5169yards・Par72
2026年5月27日(水) ●参加倶楽部数：13 ●通過倶楽部数：2 ●競技方法：6名出場、50歳以上の選手を2名以上含めた上位4名の合計スコア
ベストスコア賞
都丸 美佐子(初穂) 75
上位3倶楽部
1位 白水ゴルフ倶楽部/320ストローク
2位 藤岡ゴルフクラブ/322ストローク
3位 太田双葉カントリークラブ/328ストローク



1番ティーのスタート風景



決勝進出
1位

白水ゴルフ倶楽部

支配人 市川典克氏
当倶楽部開場60周年という記念すべき年に、関東女子倶楽部対抗群馬県予選競技を開催できましたことを、大変光栄に思っております。競技当日は天候にも恵まれ、1004mの高地ならではの爽やかな空気と豊かな自然に包まれる中、各倶楽部を代表する選手の皆様による熱戦が繰り広げられました。日頃の研鑽の成果を発揮される選手の皆様の真剣なプレーに、開催倶楽部といたしましても深い感銘を受けました。
また、当倶楽部開場60周年という節目の年に、このような伝統ある競技を無事開催できましたこと



決勝進出
2位

藤岡ゴルフクラブ

も、ご参加いただきました選手並びに関係者の皆様、そして競技運営にご尽力いただきました関東ゴルフ連盟(KGA)競技委員の皆様のお力添えの賜物であり、心より感謝申し上げます。
当倶楽部では、「草津よいとこ、1度はゴルフ」のもと、これからも多くの皆様に草津の魅力とゴルフの楽しさを感じていただける倶楽部づくりを努めてまいります。
本競技を勝ち抜き、群馬県代表として決勝競技へ進出される倶楽部の皆様におかれましては、日頃の努力の成果を存分に発揮され、さらなるご活躍をされますことを心よりお祈り申し上げます。



草津カントリークラブ



1番ホール後方の応援風景



草津CCの名物看板

草津カントリークラブ

開場60周年の節目の年に
伝統ある本競技開催の榮譽

5534yards・Par72
2026年5月26日(火) ●参加倶楽部数：15 ●通過倶楽部数：2 ●競技方法：6名出場、50歳以上の選手を2名以上含めた上位4名の合計スコア
ベストスコア賞
四分一 珠莉香(河口湖) 67
上位3倶楽部
1位 境川カントリー倶楽部/314ストローク
2位 河口湖カントリークラブ/315ストローク
3位 春日居ゴルフ倶楽部/316ストローク



最終18番グリーンの応援風景



決勝進出
1位

境川カントリー倶楽部

支配人 飯田秀一氏
今年の関東女子倶楽部対抗は駐車場の制限をしなかったことでギャラリーの皆様も多くご来場いただき、華やかな倶楽部対抗になりました。
選手の方々がゴルフを楽しむことを課題として1年間取組んで参りました。
クラブハウス内の絨毯の全面張替を実施、レストラン家具もリニューアルし、コース状態は例年にないいほど良い状態に仕上がりに、特にグリーンへの転がりがよく選手の皆さまにお楽しみいただけたと思います。



決勝進出
2位

河口湖カントリークラブ



グリーン越しに見渡す18番ホール

また、スタート前にお楽しみいただけるように昨年と同様に朝食ビュッフェにも力を入れ、品数を増やし和洋折衷ビュッフェで提供させていただきました。多くの皆様から好評いただきました。機会があれば今後も関東倶楽部対抗の会場として開催ができることを望んでおります。



オリンピックCCの応援団が待つ18番グリーン



18番グリーン奥は天然のギャラリースタンド



オリンピックカントリークラブ

予選競技
茨城第1会場

5369yards・Par72
2026年5月29日(金) ●参加倶楽部数:19 ●通過倶楽部数:2 ●競技方法:6名出場、50歳以上の選手を2名以上含めた上位4名の合計スコア
ベストスコア賞
岡安 睦美(霞台) 72
上位3倶楽部
1位 扶桑カントリー倶楽部/315ストローク
2位 セントラルゴルフクラブ/316ストローク
3位 ワンウェイゴルフクラブ/326ストローク



10番ティーのスタート風景



決勝進出
1位

扶桑カントリー倶楽部

支配人 三村道久氏
5月としては異例の気温30度湿度70%超えでの開催となり、選手にとってはまだ暑さに身体が慣れていない状態での非常に厳しいラウンドとなりました。
コース状況はグリーン10フィート・コンパクション23でのセッティングとなり、グリーン、ティ、フェアウェイ、ラフともに及第点にて選手の皆様をお迎えすることができたかと思えます。
当日は緑のターフの中、色とりどりの可憐な花がコースに咲き誇り、

普段あまり見かけることができない華やかさや緊張感がありながらも、ラウンド終了時には和気あいあいとした非常に良い雰囲気、倶楽部対抗になったかと思えます。
選手の皆様お疲れ様でした。また、練習から幾度となくご来場いただき、誠にありがとうございます。
最後にKGA競技委員の皆様、各倶楽部関係の皆様のご協力、誠にありがとうございました。お陰様で無事終了することができました。心より御礼申し上げます。



決勝進出
2位

セントラルゴルフクラブ



豪快なドライバースhotsを楽しめる打ち下ろしの18番パー5



選手で賑わうドライビングレンジ



美浦ゴルフ倶楽部

茨城第1会場
美浦ゴルフ倶楽部
ラウンド終了時には和気あいあいとした非常に良い雰囲気、倶楽部対抗に

予選競技
栃木会場

5654yards・Par72
2026年5月28日(木) ●参加倶楽部数:23 ●通過倶楽部数:3 ●競技方法:5名出場、50歳以上の選手を2名以上含めた上位4名の合計スコア
ベストスコア賞
佐藤 香織(芳賀) 76
鈴木 郁子(鹿沼) 76
上位3倶楽部
1位 鹿沼カントリー倶楽部/313ストローク
2位 芳賀カントリークラブ/321ストローク
3位 鹿沼プレミアムゴルフ倶楽部/331ストローク



多くの選手・応援団が詰めかけた最終18番グリーン



決勝進出
1位

鹿沼カントリー倶楽部

支配人 船越謙氏
競技当日は晴れのち曇り、微風のおだやかな絶好のコンディション。栃木県内23倶楽部115名の代表選手が当クラブ北・中コースを舞台に熱戦を展開。見事に鹿沼CCがトップ通過、2位に芳賀CC、3位に新進の鹿沼プレミアムGCが食い込み、本県の名コース日光CCで開催される決勝競技出場権を獲得しました。
今回も選手の皆様日々の練習の成果を存分に発揮していただけるよう、キーパー始めコース管理スタッフが日々奮闘してまいりました。大会前は特に雨が少なくグ

リーンコンパクションの調整に苦心したようですが、現状で出来得る限りの状態で当日を迎えられたことは悦ばしく存じております。
また、露木実委員長はじめ競技委員の皆様、KGA事務局の皆様、参加倶楽部の皆様のご協力、ご尽力のお陰でトラブルもなく無事予選競技を終了できました。心より感謝申し上げます。
当方は11位の結果でしたが、ホストクラブとして重圧の中での健闘に感銘を受けました。決勝競技は開催クラブの日光CC並びに予選通過3チームのご活躍を心よりお祈り申し上げます。



決勝進出
2位

芳賀カントリークラブ



決勝進出
3位

鹿沼プレミアムゴルフ倶楽部



宇都宮カンツリークラブ



競技開始を飾った猪野明子選手(宇都宮CC)のティーオフ

栃木会場
宇都宮カンツリークラブ
北・中コース
グリーンコンパクションの調整に苦心も、現状では最良の状態、競技開催

予選競技
千葉第2会場

5331yards・Par72
2026年5月26日(火) ●参加倶楽部数:22 ●通過倶楽部数:3 ●競技方法:6名出場、50歳以上の選手を2名以上含めた上位4名の合計スコア
ベストスコア賞
原 かおり(館山) 73
山田 久恵(クリアビュー) 73
落合 美詠子(千葉) 73
上位3倶楽部
1位 千葉カントリークラブ/307ストローク
2位 成田東カントリークラブ/312ストローク
3位 佐原カントリークラブ/317ストローク



ティー後方からの1番ホール全景



決勝進出
1位

千葉カントリークラブ



決勝進出
2位

成田東カントリークラブ



決勝進出
3位

佐原カントリークラブ



千葉夷隅ゴルフクラブ



ガッツポーズを見せた末石泰子選手(千葉夷隅GC)

千葉夷隅ゴルフクラブ 西・東コース

久しぶりのギャラリ立ち入り運営も
競技はスムーズに完遂

予選競技
千葉第1会場

5675yards・Par72
2026年5月20日(水) ●参加倶楽部数:23 ●通過倶楽部数:3 ●競技方法:6名出場、50歳以上の選手を2名以上含めた上位4名の合計スコア
ベストスコア賞
濱田 隆子(鶴舞) 76
上位3倶楽部
1位 鶴舞カントリー倶楽部/323ストローク
2位 新千葉カントリー倶楽部/326ストローク
3位 姉ヶ崎カントリー倶楽部/327ストローク



8番ホールセカンドショット地点



決勝進出
1位

関東女子倶楽部対抗
鶴舞カントリー倶楽部



決勝進出
2位

新千葉カントリー倶楽部



決勝進出
3位

姉ヶ崎カントリー倶楽部



10番ティー(鶴舞CCの鈴木有希子選手)



ティーから見通した18番ホール

千葉第1会場 鶴舞カントリー倶楽部 東コース

選手が最高のコースコンディションにて
プレー出来るように万全の準備

支配人 富田浩司氏
当倶楽部では、一昨年の関東女子倶楽部対抗決勝競技に続き、今年度も千葉第1予選会場としての開催となりました。競技開催にあたり、準備に尽力いただきました競技委員の皆様をはじめとする関係者様にこの場を借りて厚く御礼申し上げます。また、当日は大きなトラブルや問題もなく無事に競技を終えることが出来た事、重ねて御礼申し上げます。

に万全の準備をして参りました。
競技当日は天候にも大変恵まれ数多くのギャラリイの皆様にもご来場いただき、選手の皆様も日頃の成果を遺憾なく発揮された事大変嬉しく思っております。

最後になりますが、ご参加いただいた各倶楽部の皆様の益々のご健闘をお祈り申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

予選競技
神奈川会場

5509yards・Par72
2026年5月26日（火）●参加倶楽部数：20●通過倶楽部数：2●競技方法：5名出場、50歳以上の選手を2名以上含めた上位4名の合計スコア
ベストスコア賞
塩田 美樹子（葉山国際）69
上位3倶楽部
1位 大秦野カントリークラブ／305ストローク
2位 葉山国際カンツリー倶楽部／306ストローク
3位 秦野カントリークラブ／314ストローク



大きな拍手・声援に包まれたスタートティー

決勝進出
1位

大秦野カントリークラブ

決勝進出
2位

葉山国際カンツリー倶楽部

東京カントリー倶楽部



最終ホールにも大勢の選手・応援団



明るい日差しが注ぐ練習グリーン

神奈川会場

東京カントリー倶楽部

東OUT・東INコース

穏やかな天候に恵まれ、
競技進行もスムーズに無事終了

予選競技
東京会場

5473yards・Par72
2026年5月25日（月）●参加倶楽部数：12●通過倶楽部数：1●競技方法：5名出場、50歳以上の選手を2名以上含めた上位4名の合計スコア
ベストスコア賞
金井 佳代（青梅）72
上位3倶楽部
1位 東京五日市カントリー倶楽部／333ストローク
2位 東京国際ゴルフ倶楽部／335ストローク
3位 青梅ゴルフ倶楽部／339ストローク



練習グリーン越しに9番、18番

決勝進出
1位

東京五日市カントリー倶楽部



朝食時のレストラン



特設のテントが設営された



府中CCの応援団。右端は本郷邦明理事長



アテスト会場も明るいムード



府中カントリークラブ

東京会場

府中カントリークラブ

13年ぶりの本予選競技開催に向け
緊張感を持ってコース整備や運営準備

支配人 内田裕憲氏

関東女子倶楽部対抗東京予選競技が5月25日、12倶楽部・選手60名参加のもと開催されました。13年ぶりの当クラブ開催となりましたが、早い時期から本番直前まで多くの選手が練習ラウンドに訪れ、本競技にかける熱い思いが伝わり、緊張感を持ってコース整備や運営準備に取り組んで参りました。

当日は晴天に恵まれ、

選手やギャラリーの華やかさの中、沢山の声援が響きわたり、熱戦が繰り広げられました。

決勝に進む東京五日市カントリー倶楽部の皆様おめでとうございます。そして共に戦いました11倶楽部の皆様、素晴らしい戦いをありがとうございました。

最後になりますが、中村聖子委員長をはじめとする連盟関係者皆様のご尽力、並びに各倶楽部関係者皆様のご協力に深く感謝し、心より御礼申し上げます。

静岡の予選競技が行われた5月21日、会場の沼津ゴルフクラブは霧と雨のコンディション。優勝チームが最後まで予測できない展開となり、フジ天城の選手たちを見守った日吉久恵キャプテン（写真左）と齋藤昌子支配人（同右）が帰ろうとしたときに、「おめでとう」と1位通過を伝えられた。「やっと決勝競技に出られる。感謝と感激でした」と二人は声を揃えた。

フジ天城は、出場枠が1つしかない静岡予選で昨年は2位とあと二歩で決勝に届かなかった。「今年はエースの太田貴美選手を中心にチーム一丸で1打を大切に頑張りました」と日吉キャプテン。結果は太田選手がベストスコアの76をマークし、開催コースの沼津ゴルフクラブに1打差の1位だった。「すでに決勝出場の経験がある男子に続いて、女子が悲願を果たしてくれて、とてもうれしかった。倶楽部の手厚いバックアップが力になりました」と齋藤支配人は感慨を込めた。

たフジ天城の選手たちは、水色地に白で「フジ天城」と染められた応援タオルに励まされ、目標の5位以内には届かなかったが、初出場で11位と健闘した。81で回った名倉由衣選手は「水色軍団がいてくれてとても力になりました。素晴らしいコースの日光カンツリー倶楽部で団体戦の緊張感も味わうことができました。もともと強くなつて毎年決勝に出たいと感じました。とても良い経験でした」と振り返った。

6月19日午前7時30分の決勝競技1番ホール。日光カンツリー倶楽部の高澤亜希子キャプテン（写真）は、多くの倶楽部メンバーやコーススタッフの声援を受けて、第1組トップバッターとして、ナイスショットでティーオフしていった。「トップバッターで空振りしたらどうしようと緊張していました。そしたら、スタート地点でたくさんの人が声をかけてくれて」と高澤キャプテン。結果は、前半を38、後半は42。昨年の日本オープン舞台となったコースでトータル80

フジ天城ゴルフ倶楽部



日光カンツリー倶楽部



インサイドストーリー

決勝競技出場倶楽部

名門の日光カンツリー倶楽部を舞台に、31チームが出場した関東女子倶楽部対抗決勝競技。静岡予選を1打差で制して悲願の初出場を果たしたフジ天城ゴルフ倶楽部と、開催コースシードで2度目の出場となった日光カンツリー倶楽部の挑戦にスポットをあてた。

静岡会場

悪天候にも倶楽部対抗ならではの熱気に包まれたなか競技進行

愛鷹・伊豆コース

支配人 山本康夫氏

男子に引き続き、関東女子倶楽部対抗静岡会場予選競技が、当クラブにおいて12倶楽部72名の参加のもと開催されました。

開催にあたり、スタッフ一同、コースコンディション及びサービス面において万全の状態でお迎えできるよう心を込めて準備を進めてまいりました。

しかし、競技前日までの晴天とは一転し、当日は朝からの大雨と濃霧の影響により、1時間遅れでのスタートとなりました。そのような悪天候のなかでも、観客の皆さまが傘をさしながら見守り、選手のショットを称える掛け声が響き渡る

など、倶楽部対抗ならではの熱気に包まれた雰囲気なか、選手たちはスタートしていきました。終日、濃霧と雨に見舞われる厳しいコンディションではありましたが、大きなトラブルもなく、全選手がホールアウトし、無事に競技を終えることができました。

最後に、ご尽力いただきました萩原篤博委員長はじめ関東ゴルフ連盟競技委員の皆さま、ならびにご参加いただいた各倶楽部の皆さまに心より御礼申し上げます。無事に本競技を終えることができたことを心より感謝申し上げます。

予選競技 静岡会場

5030yards・Par72
2026年5月21日（木） ●参加倶楽部数：12 ●通過倶楽部数：1 ●競技方法：6名出場、50歳以上の選手を2名以上含めた上位4名の合計スコア
ベストスコア賞
尾畑 満紀子（沼津）76
太田 貴美（フジ天城）76
上位3倶楽部
1位 フジ天城ゴルフ倶楽部／324ストローク
2位 沼津ゴルフクラブ／325ストローク
3位 太平洋クラブ御殿場コース／329ストローク



降雨と濃霧に見舞われながらも競技は無事完遂



フジ天城ゴルフ倶楽部



沼津ゴルフクラブ



沼津GCの選手たち



ベストスコア賞の尾畑満紀子選手（沼津GC）



濃霧に包まれたドライビングレンジ

2026 SUMMER



日光カンツリー倶楽部



紫雲ゴルフ倶楽部



南長野ゴルフ倶楽部



姉ヶ崎カントリー倶楽部



岡部チサンカントリークラブ



藤岡ゴルフクラブ



東京五日市カントリー倶楽部



佐原カントリークラブ

FAIRWAY COLLECTION



セントラルゴルフクラブ



鹿沼プレミアゴルフ倶楽部



境川カントリー倶楽部



扶桑カントリー倶楽部



大森野カントリークラブ



高根カントリー倶楽部



東松山カントリークラブ



湯田上カントリークラブ

2026 SUMMER



宍戸ヒルズカントリークラブ



成田東カントリークラブ



新千葉カントリー倶楽部



鶴舞カントリー倶楽部



中央道晴ヶ峰カントリー倶楽部



河口湖カントリークラブ



セゴビアゴルフクラブ イン チヨダ



FAIRWAY COLLECTION



フジ天城ゴルフ倶楽部



千葉カントリークラブ



鳳凰ゴルフ倶楽部



葉山国際カンツリー倶楽部



芳賀カントリークラブ



鹿沼カントリー倶楽部



越生ゴルフクラブ



白水ゴルフ倶楽部

決勝競技

関東倶楽部対抗
鶴舞カントリー倶楽部 西・東コース

新千葉カントリー倶楽部 激戦を制し2年ぶり6度目V



2026年 関東倶楽部対抗 決勝競技

鶴舞カントリー倶楽部

2026年6月9日(火)

新千葉CC選手・関係者。後列左から、片岡光一、川岸晃平、川島宗太、新井淳、波多野隆一、伊藤雄三。
前列左から、深山克己、伊藤和久(キャプテン)、大坪照康(新千葉CC社長)、櫻井延秋(監督)、金岡治久。

ビュー戦の地区予選(成田ゴルフ倶楽部)を77で無難にこなした。そしてチームの信頼を得て出場した決勝競技で、大きな仕事を成し遂げようとしていた。

前半は5ボギーと苦しんだが、後半は8番まで2バーディー、2ボギーと耐えた。そして迎えた380ヤード、パー4の最終ホール。ティーショットを左ラフに打ち込み、ピンまで137ヤードの2打目を9番アイアンでピン下6メートルにつけた。「弱いと切れそうだったので、緩まないうちに打ちました」。劇的なバーディーパットが決まると、グリーンサイドの応援団は歓喜に包まれた。パーで終われば、東京国際と同ストロークとなり、Bクラスの不採用スコアのマッチングで、東京国際の初優勝となることだった。

ベテランが躍動を支える

思わぬ大役を果たした新井選手はプレー後、「日頃から厳しい先輩方に鍛えられている成果です」と笑顔を見せた。

若き新鋭の躍動を支えたのは、頼れるベテランの存在だった。地区予選に続き決勝でも「72」をマークした深山克己選手(57歳)だ。前半こそ3オーバーと出遅れたものの、後半に4バーディー、1ボギーの猛チャージで、日本シニアゴルフ選手権常連の金岡治久選手(64歳)とともに優勝の原動力となった。

今年が倶楽部対抗のAクラスデ

新鋭・新井淳が最終ホールのバーディーで大逆転を演出



新井選手の劇的バーディーに、歓喜に沸く選手・応援団



倶楽部を大逆転優勝に導いた新井選手

決勝競技

関東倶楽部対抗

Aクラス(西コース)：6515yards・Par72
Bクラス(東コース)：6795yards・Par72
2026年6月9日(火)
●参加倶楽部数：42 ●競技方法：Aクラス3名、Bクラス3名出場、各クラス上位2名、計4名の合計スコア
最優秀選手賞
Aクラス：水上 晃男(鷹之台) 70ストローク
Bクラス：竹内 規晃(東京国際) 71ストローク
上位5倶楽部
1位 新千葉カントリー倶楽部 / 298ストローク
2位 東京国際ゴルフ倶楽部 / 299ストローク
3位 鷹之台カンツリー倶楽部 / 300ストローク
4位 茨城ゴルフ倶楽部 / 300ストローク
5位 姉ヶ崎カントリー倶楽部 / 301ストローク



関東ゴルフ連盟・吉田裕明理事長(右から4人目)から優勝盾を授与される新千葉CC

ビューとなった深山選手は「選手構成の関係で昨年までBクラスで出ていました。うちの強みは、いつもなら70台前半で回る2人が81を打つても、他のみんなでカバーできること。若手には研修会のラウンドや練習場でアドバイスを送り、切磋琢磨しています」と語り、チームワークを強調する。

鉄の結束

新千葉を率いるのは、選手時代も含め40年以上も倶楽部対抗に関わってきた櫻井延秋監督(78歳)だ。自身も90年代に4度の優勝を経験し、2019年に一線を退いてからもチームの精神的支柱であり続けている。

選手選考は、選考会のベスト4ラウンドとワーストスコアの計5ラウンドの平均値を考慮して決める。「どこにいても80を打つなど言い続けている。叩いた人は来年、選手候補から外すかもしれない。たとえクラブチャンピオンを取っても補欠。だからスコア取りの段階からみんな一生懸命やっている」。時に厳しい櫻井監督の叱咤激励が、チームの鉄の結束を作り上げた。

決勝競技6度の優勝は、袖ヶ浦カントリー倶楽部、相模カンツリー倶楽部と並んで歴代3位タイ。1位は東千葉カントリークラブの10回、2位は千葉カントリークラブの8回である。(戸田光法委員)

各地区予選通過チームと、昨年優勝の鷹之台カンツリー倶楽部、開催コースの鶴舞カントリー倶楽部の計42チーム、252選手による決勝競技は、わずか3打差の中に7チームがひしめく大混戦。朝から雨模様ですっきりしない天候の中、優勝の行方は最終組までもつれ込んだ。

2年前に26年ぶりの優勝を果たした新千葉カントリー倶楽部は、A・B両クラスの実力者2人が「81」と苦戦。5人がホールアウトした時点で首位の東京国際ゴルフ倶楽部に4打差をつけられていた。初優勝を狙う東京国際は竹内規晃選手の71(Bクラスベストスコア)を筆頭に、ホールアウトしたすべての選手が70台をマーク。Bクラスの最終組でプレーする新千葉の新井淳選手が76なら「81」を消して、新千葉が土壇場で1打差逆転となる。

仲間の、雰囲気、で状況察知

当然ながらプレーする選手に戦況は分からない。目の前の1打に集中するのみだが、最終ホール(東コース9番)のグリーンの向こうで鈴なりで見守る仲間たちの空気は、新井選手にも伝わった。「最終ホールはパーでいいと思っていたが、みんながソワソワしていたので、なんとなく状況が分かった」。

28歳の新井選手にとって、今回が初めての倶楽部対抗。強豪・新千葉の代表選手としてチーム戦でプレーする重圧は大変なものだが、デ

宮辰夫が74でエージシュート達成



出場選手中最年長・74歳の宮辰夫選手（習志野）が、雨にも負けず74をマークし、エージシュートを達成した。実は昨年の倶楽部対抗地区予選（袖ヶ浦）でも73でエージシュートを決めたが、決勝競技では自身初の慶事だ。

「雨で飛ばないけど、倶楽部のために我慢してやった結果です」。プレー後、仲間たちと生ビールを飲みながら、控えめに喜びを語った。

宮選手の倶楽部対抗出場歴は今年で50年目。予選からブロック決勝、決勝競技をカウントすると70試合以上になるという。「倶楽部対抗という競技のおかげでゴルフを続けられている。感謝しかありません」。

力強いスイングで230ヤードを飛ばす宮選手。今後の目標は日本グランドシニアでエージシュートを達成することだ。

（戸田光法委員）



Bクラスの最年長は赤城国際CCの狩野文雄選手（70歳、写真一番手前）



東京国際GCの竹内規晃選手
Bクラス最優秀選手賞獲得



2位 東京国際ゴルフ倶楽部



鷹之台CCの水上晃男選手
Aクラス最優秀選手賞獲得



3位 鷹之台カンツリー倶楽部



4位 茨城ゴルフ倶楽部



5位 姉ヶ崎カントリー倶楽部

西コース18番グリーン奥は天然のギャラスタ

Aクラスの舞台、西コース18番グリーン奥は天然のギャラリストンド。競技後半は常に多くの選手・応援団がここに集まり、大きな拍手・歓声を送っていた。



鷹之台カンツリー倶楽部



太平洋クラブ御殿場コース



多くの応援団がグリーン上のプレーに熱い視線を送った西コース18番ホール



2026年 関東倶楽部対抗
決勝競技

鶴舞カントリー倶楽部

2025年8月9日（土）

新潟第2会場
予選競技
 Aクラス：6236yards・Par72
 Bクラス：6607yards・Par72
 2026年5月14日（木）●参加倶楽部数：15●通過倶楽部数：1●競技方法：Aクラス4名、Bクラス4名出場、各クラス上位3名、計6名の合計スコア
ベストスコア賞
 Aクラス：上山 雄一（ノーブルウッド）76
 Bクラス：目黒 学（日本海）75
上位3倶楽部
 1位 ノーブルウッドゴルフクラブ／477ストローク
 2位 日本海カントリークラブ／481ストローク
 3位 笹神五頭ゴルフ倶楽部／491ストローク



朝のパッティンググリーン



決勝進出
1位

ノーブルウッドゴルフクラブ

支配人 渡辺真美氏
 初めての関東倶楽部対抗競技開催
 心に残る記念すべき一日に
 当初は、胎内市
 榊山脈の裾野に広がる
 名手サム・スニードが設
 計した戦略的コースで
 す。アンジュレーション
 が豊かなフェアウェイと
 個性的なグリーンが最大
 の魅力であり特徴で、こ
 だわりのコースセッティ
 ングは楽しさを実感させ
 てくれます。
 以前から各倶楽部の選
 りすぐりの皆様を当コ

スにお迎えしたいという
 想いがあり、この度開催
 する事ができました。競
 技開催日に向けて、スタ
 ヲフ一丸となり日々コース
 の整備や選手の皆様へ
 のおもてなしの準備を進
 めてまいりました。
 当日は倶楽部対抗競
 技独特の団体戦の雰囲気
 と選手の皆様の緊張
 感や笑顔があふれ、私
 たちにとって心に残る記
 念すべき一日となりました。
 この日を迎えるにあた
 りご尽力いただいたすべ
 ての皆様にご心より御礼
 申し上げます。



榊形ゴルフ倶楽部



大勢の応援ギャラリーが見守る9番グリーン



遠くに日本海を一望できる10番ティー



当日早朝のクラブハウスを空撮

新潟
第2会場

榊形ゴルフ倶楽部

初めての関東倶楽部対抗競技開催
 心に残る記念すべき一日に

新潟第1会場
予選競技
 Aクラス：6354yards・Par72
 Bクラス：6718yards・Par72
 2026年5月12日（火）●参加倶楽部数：16●通過倶楽部数：2●競技方法：Aクラス4名、Bクラス4名出場、各クラス上位3名、計6名の合計スコア
ベストスコア賞
 Aクラス：堀 文明（湯田上）73
 Bクラス：見田 和也（イーストヒル）71
 木島 拓人（新発田城）71
上位3倶楽部
 1位 イーストヒルゴルフクラブ／465ストローク
 2位 ヨネックスカントリークラブ／473ストローク
 3位 湯田上カントリークラブ／474ストローク



好天のもと、最良のコースコンディションで開催



決勝進出
1位

イーストヒルゴルフクラブ

支配人 鹿取信吾氏
 今年開場50周年を迎える
 湯田上カントリークラ
 ブは湯田上温泉郷に隣接
 する護摩堂山麓の丘陵地
 にあり、新潟平野を眼下
 に、戦略性豊かでダイナ
 ミックな27ホールを有す
 るゴルフ場です。その
 内、紫陽花コース、信濃
 川コースの当ゴルフ場の
 チャンピオンコースを使
 用し倶楽部対抗予選競技
 を開催致しました。倶楽
 部対抗競技としては45年
 ぶり、女子倶楽部対抗競
 技からも14年ぶりの開催
 となりました。
 また、久しぶりの開催
 につき慣れない開催準備

やコースコンディション
 をベストな状態で選手の
 皆様を迎えられる様、ス
 タッフにはかなりのプレッ
 シャー、苦勞があつたと思
 いますが、チームワークを
 高め様々な良い経験を積
 む機会にもなりました。
 競技当日は天候にも恵
 まれグリーンコンディ
 ションは9フィート・コ
 ンパクション25と難しい
 状況でしたが、滞りなく
 競技を終了する事が出来
 ました。各倶楽部の選手
 の皆様に於かれまして
 は、本当にお疲れ様でし
 た。当クラブ選手はまさ
 かの1打差で第3位と涙



決勝進出
2位

ヨネックスカントリークラブ

を吞む結果になりました
 が、次回倶楽部対抗に向
 け結束を強くした様に見
 えしました。
 末筆ながら新潟県代表
 選手皆様の決勝競技での
 御活躍を御祈念申し上げ
 ると共に、今回の競技会
 開催にあたり、関東ゴル
 フ連盟の競技委員の皆様
 並びに参加倶楽部の皆様
 の御協力に心より御礼を
 申し上げます。



湯田上カントリークラブ



湯田上CCの阿部祐希選手のティショット

新潟
第1会場

湯田上カントリークラブ

45年ぶりの本予選競技開催
 様々な良い経験を積む機会に

紫陽花・信濃川コース



Aクラス：6339yards・Par72
Bクラス：6704yards・Par72
2026年5月15日（金）●参加倶楽部数：20●通過倶楽部数：2●競技方法：Aクラス3名、Bクラス3名出場、各クラス上位2名、計4名の合計スコア
ベストスコア賞
Aクラス：上條 英二（桜ヒルズ）72
Bクラス：手塚 大輔（昇仙峡）69
上位3倶楽部
1位 昇仙峡カントリークラブ／302ストローク
2位 シャトレゼヴィンテージゴルフ倶楽部／306ストローク
3位 都ゴルフ倶楽部／309ストローク



応援のギャラリーが見つめるスタートの1番ティー



決勝進出
1位

昇仙峡カントリークラブ



決勝進出
2位

シャトレゼヴィンテージゴルフ倶楽部



10番ティーの後方で応援する選手・倶楽部メンバー



レイク相模の林寛雄選手のティーオフ



レイク相模カントリークラブ

レイク相模カントリークラブ 良好なコースコンディションのもと 選手たちの真剣なプレーに深く感銘

支配人 石井年晴氏
2026年関東倶楽部対抗山梨予選会が無事に開催出来ましたことにつきまして、関東ゴルフ連盟の佐々木巧委員長、大木茂副委員長はじめ、当クラブ会員のボランティア並びに関係者の皆様に心より厚く御礼申し上げます。
レイク相模カントリークラブは、豊かな自然に恵まれ山間地ながら高低差の少ないフラットなホールが多く、レイアウトは日本庭園風に作られ、四季折々に色彩を添える花木も豊かで水辺の風景も楽しめる戦略性豊かなコースです。クラブとして初めての開催となった本競技では、コース管理を中心に細部にまで調整を重ねると共に全部署が一丸となり準備を進めてまいりました。
当日は天候にも恵まれ、傾斜を活かしたグリーンセッティングに選手が苦戦する場面も見られました。スタートホールやホールアウト地点では多くのギャラリーから温かい声援や拍手が送られるなど、熱気溢れる競技会となりましたことを大変嬉しく思います。
改めて、予選を通過した2チームの選手及び関係者様、おめでとうございました。決勝競技のご検討を祈念致しております。



Aクラス：6211yards・Par72
Bクラス：6650yards・Par72
2026年5月15日（金）●参加倶楽部数：27●通過倶楽部数：3●競技方法：Aクラス3名、Bクラス3名出場、各クラス上位2名、計4名の合計スコア
ベストスコア賞
Aクラス：座光寺 透（諏訪湖）72
Bクラス：藤澤 龍人（豊科）69
上位3倶楽部
1位 長野カントリークラブ／299ストローク
2位 豊科カントリー倶楽部／300ストローク
3位 塩嶺カントリークラブ／307ストローク



競技は青空のもとで開催された



決勝進出
1位

長野カントリークラブ



決勝進出
2位

豊科カントリー倶楽部



決勝進出
3位

塩嶺カントリークラブ

上田丸子グランヴィリオゴルフ倶楽部 絶好のゴルフ日和のもと 良好なコンディションで開催

総支配人 福岡啓三氏
関東倶楽部対抗長野会場、当・上田丸子グランヴィリオゴルフ倶楽部にて27倶楽部162名の選手をお迎えして行われました。当日は天候にも恵まれ、絶好のゴルフ日和となり、良好なコンディションで開催する事が出来ました。
当コースは6月にJLPGAのステップアップツアー競技を開催しており、その経験を活かし皆様に素晴らしいプレーをしていただけるよう、スタッフ一同準備に勤しんでまいりました。昨今の天候不順、乾燥の影響もあり、春先の芽出しの時

期など苦慮することもありましたが、ようやく良好な状態にこぎつけることが出来ました。
倶楽部対抗という緊張感のなか、独特の盛り上がりを見ることが出来た競技会になったかと思えます。
ご尽力いただきました原史郎競技委員長をはじめ、関東ゴルフ連盟の皆様、また倶楽部代表選手・応援団の皆様、さらにはサポートしていただきました全ての皆様には改めて御礼申し上げますとともに、無事に本競技を終えることが出来たことを心より感謝申し上げます。



上田丸子グランヴィリオゴルフ倶楽部

**群馬第2会場
予選競技**

Aクラス：6393yards・Par72
Bクラス：6698yards・Par72
2026年5月14日（木）●参加倶楽部数：13●通過倶
楽部数：1●競技方法：Aクラス4名、Bクラス4名出
場、各クラス上位3名、計6名の合計スコア
ベストスコア賞
Aクラス：関 徹也（赤城国際）72
Bクラス：小巻 貴由樹（太田双葉）74
橋爪 義典（赤城国際）74
上位3倶楽部
1位 赤城国際カントリークラブ / 460ストローク
2位 伊香保ゴルフ倶楽部 / 463ストローク
3位 伊香保国際カントリークラブ / 466ストローク



ホテル併設のクラブハウス前でパッティング練習



決勝進出
1位

赤城国際カントリークラブ

総支配人 清水勝弘氏
当倶楽部では2015
年以来11年ぶりのKGA
競技として、2026年
関東倶楽部対抗群馬第
2会場予選競技が開催
されました。
当日は天候不順で発
雷確率8割と予想され、
競技委員会より全選手
終了が出来ない場合の
競技方法がでる中、定刻
7時30分より選手たちが
各倶楽部応援を背に受
け豪快なティンショット
を放ちスタートしました。
今年では当倶楽部周辺
の群馬県西毛地区は極
端に降雨が少なくグリー
ン・フェアウェイ散水等



心配された発雷もなく競技は無事終了



雄大な風景が楽しめる丘陵コース

群馬 第2会場

サンコーカントリークラブ 東コース 11年ぶりのKGA競技は無事完遂



サンコーカントリークラブ

**群馬第1会場
予選競技**

Aクラス：6389yards・Par72
Bクラス：6800yards・Par72
2026年5月12日（火）●参加倶楽部数：12●通過倶
楽部数：1●競技方法：Aクラス4名、Bクラス4名出
場、各クラス上位3名、計6名の合計スコア
ベストスコア賞
Aクラス：渡邊 俊裕（JGMベルエア）71
Bクラス：川島 勇介（JGMベルエア）72
榎 直人（上武）72
上位3倶楽部
1位 JGMベルエアゴルフクラブ / 456ストローク
2位 妙義カントリークラブ / 464ストローク
3位 関越ハイランドゴルフクラブ / 467ストローク



妙義グリーンホテル&テラス(左)とクラブハウス



決勝進出
1位

JGMベルエアゴルフクラブ

支配人 戸ノ岡浩和氏
妙義は予選2連覇中とい
うことで、ホームコー
スで3連覇を目指す選
手、関係者の意気込みが
強く、開催日が近づくに
つれ大変盛り上がってい
たことを印象深く記憶し
ております。
開催に際しては、競
技委員、事務局の皆様
が非常に協力的で、私
共の通常営業に支障が
出ないよう、きめ細か
な配慮をいただいた
のおかげで、特段の苦
労はなく当日を迎える
ことができました。
結果は、トップのチー
ムの素晴らしい成績によ



1番ティーのスタート風景



スコアカード提出所

り大変惜しくも2位とな
りましたが自コースでの
開催という素晴らしい機
会を通して、選手団とス
タッフのつながりがま
す強くなる貴重な体験
でした。
いま、来年に向けて
チーム一丸となって準
備を進めたいと感じて
おります。



9番グリーン越しに望む妙義山



妙義カントリークラブ

群馬 第1会場

妙義カントリークラブ ホームコースでの開催に 選手とスタッフのつながりが強化

予選競技
栃木第2会場



Aクラス：6399yards・Par72
Bクラス：6700yards・Par72
2026年5月19日（火）●参加倶楽部数：17●通過倶楽部数：2●競技方法：Aクラス4名、Bクラス4名出場、各クラス上位3名、計6名の合計スコア
ベストスコア賞
Aクラス：古谷野 光雄（希望丘）73
田所 靖浩（烏山城）73
Bクラス：前田 晃希（東松苑）71
上位3倶楽部
1位 那須小川ゴルフクラブ／454ストローク
2位 希望丘カントリークラブ／461ストローク
3位 烏山城カントリークラブ／466ストローク



芝の上からショットが可能なドライビングレンジ



決勝進出
1位

那須小川ゴルフクラブ

理事長 篠崎暢宏氏
那須小川ゴルフクラブは、これ迄に、関東倶楽部対抗競技の栃木予選競技を過去三回開催して頂き、今回が四度目となります。しかも、昨年令和7年度の女子予選競技に続いて二年連続開催の栄を浴し、スタッフ一同張り切って準備を進めて来しました。当クラブとして、男女の予選競技は合わせて七度目となりますので、「過去最高の仕上げ」を合言葉にして、3月5月までに三度のFW目砂を実行し、春先の更



決勝進出
2位

希望丘カントリークラブ



那須小川IGCの橋本健選手

新作業でグリーンの密度を高め、本戦までに10フィートのスピードと適度の硬さを確認しながら、目標通りの仕上がりを提供できたことを全社員が心から喜んでおります。



パッティンググリーン練習風景



出場の倶楽部旗が掲揚

栃木
第2会場

那須小川ゴルフクラブ
「過去最高の仕上げ」を合言葉に
目標通りの仕上がりのコースを提供

予選競技
栃木第1会場



Aクラス：6378yards・Par72
Bクラス：6768yards・Par72
2026年5月14日（木）●参加倶楽部数：17●通過倶楽部数：2●競技方法：Aクラス4名、Bクラス4名出場、各クラス上位3名、計6名の合計スコア
ベストスコア賞
Aクラス：阿久津 英男（鹿沼プレミア）73
宮川 実（芳賀）73
Bクラス：菊地 諭史（塩原）69
張田 巧（矢板）69
上位3倶楽部
1位 塩原カントリークラブ／441ストローク
2位 矢板カントリークラブ／462ストローク
3位 芳賀カントリークラブ／469ストローク



青空が広がった当日朝の練習グリーン



決勝進出
1位

塩原カントリークラブ

支配人 都築久範氏
当倶楽部は1969年開場のゴルフ場で、2022年男子・2024年女子の関東倶楽部対抗栃木県予選会場にも選ばれております。グリーンキーパーを中心にコース整備へ注力し、会員や地域の皆様のご協力による毎週のボランティア活動を通じて、コースづくりに取り組んでまいりました。

今回は特に良好なコンディションのもと、17倶楽部の選手の皆様をお迎えできたことを大変うれしく思っております。開催にあたっては、関東ゴルフ連盟の萩原篤博競技委員長をはじめ、多くの皆様からご指導、ご協力を賜りました。雷予報もありましたが、晴天のうちに無事競技を終えられたことに感謝申し上げます。また、当倶楽部が1位通過を果たし、2位通過の矢板カントリークラブとともに決勝戦へ進めることを大変うれしく存じます。今後もコース品質とサービス向上に向け、スタッフ一同努めてまいります。



決勝進出
2位

矢板カントリークラブ



応援のメンバーが待つ18番グリーン



メンバーの応援を力に塩原CCは1位通過



有志ボランティアによる目土作業

栃木
第1会場

塩原カントリークラブ
ボランティア活動によるコースづくり
今回は良好なコンディションを実現

南・北コース

茨城第1会場
予選競技



Aクラス：5945yards・Par72
Bクラス：6304yards・Par72
2026年5月12日（火）●参加倶楽部数：20 ●通過倶楽部数：2 ●競技方法：Aクラス3名、Bクラス3名出場、各クラス上位2名、計4名の合計スコア
ベストスコア賞
Aクラス：小松崎 博（JGM笠間）72
Bクラス：塚原 弘貴（JGM笠間）71
平野 大樹（イーグルポイント）71
上位3倶楽部
1位 JGM笠間ゴルフクラブ／295ストローク
2位 茨城ゴルフ倶楽部／308ストローク
3位 扶桑カントリー倶楽部／310ストローク



ワンウェイGC平山英雄選手のスターティングショット



決勝進出
1位

2026年
関東倶楽部対抗
茨城第1会場
JGM笠間ゴルフクラブ

代表取締役総支配人 二田水豪氏
この度、昨年の女子倶楽部対抗に続き、2年連続で関東ゴルフ連盟主催競技を開催できましたことを、連盟役員の皆様をはじめ、メンバーの皆様、そしてスタッフ一同に厚く御礼申し上げます。競技当日は、これ以上ないほどの快晴に恵まれ、会場には大勢の応援の方々にお越しいただきました。各倶楽部の精鋭たちがプライドをかけて戦う姿は、見る者すべてに深い感動を与えてくれました。改めてゴルフという競技の奥深さを実感す

るとともに、この舞台を提供できたことに大きな喜びを感じております。我がワンウェイチームは、惜しくも決勝進出を逃す結果となりました。しかし、ホーム開催という独特の重圧の中でプレーした経験は、選手たちの今後のゴルフ人生において何物にも代えがたい大きな財産となるはずです。このような非常にカジュアルな運営スタイルを持つ当コースで、2年連続で格式高い公式戦を開催できたことは、私たちにとって大きな自信となりました。「ゴルフの本質はプレーそのものに

ある」という信念を、改めて証明できたのではないかと自負しております。今後も、皆様に愛されるワンウェイゴルフクラブであり続けるよう精進してまいります。引き続き、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



ワンウェイGCの村田昌志選手



決勝進出
2位

茨城ゴルフ倶楽部



ワンウェイゴルフクラブ

茨城第1会場

ワンウェイゴルフクラブ
ゴルフという競技の奥深さを実感
この舞台の提供に大きな喜び

栃木第3会場
予選競技



Aクラス：6389yards・Par72
Bクラス：6741yards・Par72
2026年5月14日（木）●参加倶楽部数：17 ●通過倶楽部数：2 ●競技方法：Aクラス4名、Bクラス4名出場、各クラス上位3名、計6名の合計スコア
ベストスコア賞
Aクラス：植木 俊宏（プレステージ）71
Bクラス：八木 慎太郎（広陵）72
佐々木 恭太郎（サンヒルズ）72
上位3倶楽部
1位 サンヒルズカントリークラブ／462ストローク
2位 皐月ゴルフ倶楽部 佐野コース／476ストローク
3位 プレステージカントリークラブ／478ストローク



1番ティーのスタート風景



決勝進出
1位

サンヒルズカントリークラブ

支配人 原田裕次郎氏
当クラブにおきまして「関東倶楽部対抗 栃木県第3会場予選」が盛大に開催されました。まずは、本競技に出場された各倶楽部の選手の皆様の素晴らしいプレーと健闘に、心より敬意を表します。また、見事予選を勝ち抜け、決勝進出を決められた倶楽部の皆様、誠にありがとうございます。栃木県を代表するトップアマチュアの皆様をお迎えするにあたり、最高の舞台をご用意できるよう、全スタッフが一心となってコースコンディ

ションの整備およびおもてなしの準備を進めてまいりました。競技当日は天候にも恵まれ、選手の方々から「素晴らしいグリーンだった」「戦略的で素晴らしいコース」といった温かいお言葉を数多くいただき、安堵するとともに大きな誇りを感じております。



18番グリーン奥で選手を出迎える応援団



決勝進出
2位

皐月ゴルフ倶楽部 佐野コース



レイクランドカントリークラブ



当日は天候も、コースの状況も良好

栃木第3会場

レイクランドカントリークラブ
全スタッフ一丸でコース整備と
おもてなしの準備にまい進

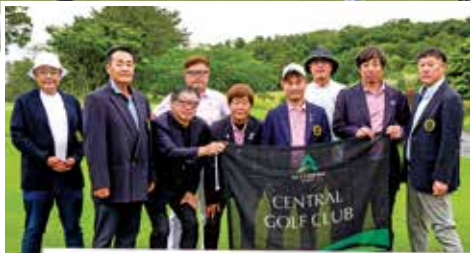
茨城第3会場
予選競技



Aクラス：6545yards・Par72
Bクラス：6876yards・Par72
2026年5月14日（木）●参加倶楽部数：19●通過倶楽部数：2●競技方法：Aクラス3名、Bクラス3名出場、各クラス上位2名、計4名の合計スコア
ベストスコア賞
Aクラス：藤枝 利之（桂ヶ丘）74
茂野 進司（セントラル）74
伊藤 司（セントラル）74
Bクラス：八木 勇乃輔（ザ・竜ヶ崎）76
林 圭一（セントラル）76
上位3倶楽部
1位 セントラルゴルフクラブ／301ストローク
2位 鹿島の杜カントリー倶楽部／312ストローク
3位 つくばカントリークラブ／312ストローク



青空が広がった当日朝の練習グリーン風景



決勝進出
1位
2026年 関東倶楽部対抗
セントラルゴルフクラブ



決勝進出
2位
鹿島の杜カントリー倶楽部



明るさいっぱいのレストラン



右手に池が広がる17番パー4



10番ティー後方の練習グリーン

茨城第3会場

セントラルゴルフクラブ

麻生コース

開場50周年の記念すべき年に、
本競技の開催の光栄

支配人 沖信吾氏

セントラルゴルフクラブ麻生コースは、本年開場50周年という大きな節目を迎えました。その記念すべき年に、本競技の舞台として皆様をお迎えできましたことを大変光栄に感じております。

当日は午後から風が強まる厳しいコンディションとなりましたが、各倶楽部の代表として熱い思いを胸に戦われた選手の皆様のプレーはどれも素晴らしく、最後まで白熱した競技となりました。

開催にあたりご尽力いただきました関東ゴルフ

連盟の皆様をはじめ、倶楽部代表選手の皆様、応援団の皆様、そして競技運営を支えてくださいましたすべての皆様に、改めて厚く御礼申し上げますとともに、本競技を無事終えることができましたことに、心より感謝申し上げます。

今後も皆様に愛される倶楽部づくりと、より良いコンディションの提供に努めてまいります。



セントラルゴルフクラブ 麻生コース

茨城第2会場
予選競技



Aクラス：6359yards・Par72
Bクラス：6814yards・Par72
2026年5月18日（月）●参加倶楽部数：20●通過倶楽部数：2●競技方法：Aクラス3名、Bクラス3名出場、各クラス上位2名、計4名の合計スコア
ベストスコア賞
Aクラス：岡野 智弘（PGM石岡）72
Bクラス：軍司 悦弘（水戸グリーン）70
上位3倶楽部
1位 水戸グリーンカントリークラブ 山方コース／297ストローク
2位 水戸ヒルズカントリークラブ／299ストローク
3位 PGM石岡ゴルフクラブ／304ストローク



スタート前のパッティング練習場風景



決勝進出
1位
2026年 関東倶楽部対抗
水戸グリーンカントリークラブ 山方コース



決勝進出
2位
水戸ヒルズカントリークラブ



アスレチックガーデンゴルフ倶楽部

茨城第2会場

アスレチックガーデンゴルフ倶楽部

昨年開場25周年に達し、
今後も倶楽部運営に向上心

支配人 石井茂氏

2026年関東倶楽部対抗茨城予選競技を当倶楽部にて無事開催できましたことに感謝申し上げます。

また、開催にあたり多大なるご尽力を賜りました佐藤利永子競技委員長をはじめとする競技委員の皆様、スミズミな進行に心より感謝申し上げます。

各倶楽部選手及び倶楽部関係者の皆様には、練習ラウンドにて何度も足をお運びいただきありがとうございました。

当倶楽部は昨年開場25周年に達し、会員制倶楽



10番ティー後方の応援風景

部として倶楽部理念を礎とし、今後もこのような伝統格式ある競技の開催コースとしてお声をかけていただけるようコースコンディション含め倶楽部運営に向上心を持って取り組んで参ります。

予選を通過し、決勝

へと進まれます水戸グリーンカントリークラブ山方コース、水戸ヒルズカントリークラブ選手の皆様のご健闘、そしてご参加いただきました各倶楽部の皆様のご活躍を心よりお祈り申し上げます。



決勝進出ならずも笑顔が見える開催倶楽部の面々

埼玉第2会場
予選競技



Aクラス：6405yards・Par72
Bクラス：6867yards・Par72
2026年5月18日（月）●参加倶楽部数：22●通過倶楽部数：2●競技方法：Aクラス3名、Bクラス3名出場、各クラス上位2名、計4名の合計スコア
ベストスコア賞
Aクラス：大野 達朗（武蔵）75
Bクラス：藤平 康法（さいたま）73
上位3倶楽部
1位 岡部チサンカントリークラブ／311ストローク
2位 オリムピックナショナルゴルフクラブ／313ストローク
3位 高坂カントリークラブ／316ストローク



大勢の選手、応援団に見守られながらの10番ティーショット



決勝進出
1位

岡部チサンカントリークラブ

副支配人 大谷明弘氏
2026年度関東倶楽部対抗埼玉第2会場予選競技は、好天にも恵まれ、選手・関係者・ギャラリーを合わせ350名を超える皆様にご来場いただき、開催クラブとして大会成功の喜びを実感いたしました。当クラブでは、関東倶楽部対抗という伝統ある舞台にふさわしい競技運営を目指し、心に残る一日となるよう準備を重ね、いくつかのおもてなしの取り組みをいたしました。

一つ目は「倶楽部旗」の掲揚です。これは理事長の想いもあり、最優先事項といたしました。当日、各クラブの旗が風にはためく姿は競技の雰囲気より一層高め、プレー終了後には旗を背に記念撮影をされる選手や応援の皆様の姿も多く見られ、大変嬉しく感じた光景の一つでした。

二つ目は「スコア速報ボード」の設置です。他競技で目にした会場全体がスコアに注目しながら盛り上がる光景を参考に可能な範囲で実施し、結果として、競技会場の一体感を生み出す一助になったと感じております。

三つ目は観戦エリアの拡大です。より間近で競技を楽しんでいただけよう、一部ホールで観戦可能エリアを拡大いたしました。

最後になりますが、多くの皆様のご協力のもと、本競技が無事終了いたしましたことに改めて厚く御礼申し上げます。

飯能ゴルフクラブ



飯能ゴルフクラブ



練習グリーン脇にずらりと掲揚された倶楽部旗

埼玉第2会場

飯能ゴルフクラブ

「倶楽部旗」の掲揚など、3つの〴〵おもてなしを提供

埼玉第1会場
予選競技



Aクラス：6467yards・Par72
Bクラス：6879yards・Par72
2026年5月18日（月）●参加倶楽部数：22●通過倶楽部数：2●競技方法：Aクラス3名、Bクラス3名出場、各クラス上位2名、計4名の合計スコア
ベストスコア賞
Aクラス：平井 雄一郎（鳩山）69
Bクラス：有賀 史剛（東京）72
篠田 裕邦（おおむらさき）72
上位3倶楽部
1位 嵐山カントリークラブ／300ストローク
2位 東京ゴルフ倶楽部／300ストローク
3位 霞ヶ関カンツリー倶楽部／306ストローク



当日は早朝から爽やかな青空が広がった



決勝進出
1位

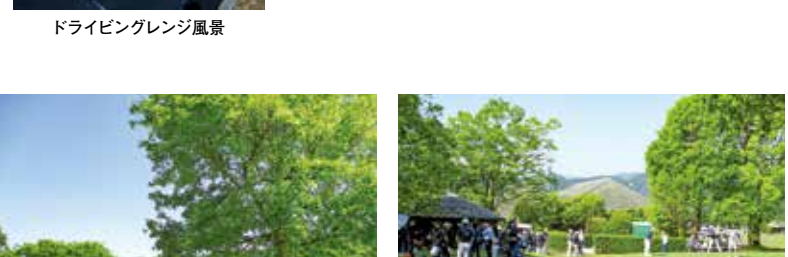
嵐山カントリークラブ

総支配人 大崎光二氏
2026年度関東倶楽部対抗が、5月18日（月）に当クラブにおいて絶好の青天の中開催されました。2013年以来3回目の開催で今回22倶楽部参加のもと熱戦が繰り広げられました。開催に際しましては出来る限り最高の状態で皆様をお迎えしようとミートイングを重ね社員・スタッフ総出で準備をさせて頂きました。お陰様でコース及びグリーンコンディションを目標通りに整えることが出来、相応のご評価を頂戴することが出来ました。

また今回は応援のギャラリーの皆様が予想以上にたくさんご来場下さり開催に花を添えて頂きました。なお、競技の結果につきましては嵐山カントリークラブと東京ゴルフ倶楽部が決勝に進まりました。当クラブの選手も健闘をして第9位とベストテン入りを致しました。

最後になりましたが連盟の皆様・担当委員の皆様及び選手・関係者の皆様に深く感謝申し上げます。御礼申し上げます。

ドライブングレンジ風景



涼を取りながらの応援（9番グリーン）



1番ティーのスタート風景



決勝進出
2位

東京ゴルフ倶楽部

飯能グリーンカントリークラブ

予選競技

千葉第2会場

Aクラス：6392yards・Par72
Bクラス：6768yards・Par72
2026年5月14日（木）●参加倶楽部数：19●通過倶楽部数：2●競技方法：Aクラス4名、Bクラス4名出場、各クラス上位3名、計6名の合計スコア
ベストスコア賞
Aクラス：深山 克己（新千葉）72
Bクラス：高山 知晃（千葉）72
上位3倶楽部
1位 新千葉カントリー倶楽部／452ストローク
2位 習志野カントリークラブ／461ストローク
3位 成田東カントリークラブ／462ストローク



クラブハウスから10番ホールを眺望

決勝進出

1位

2026年 関東倶楽部対抗 決勝競技

新千葉カントリー倶楽部

支配人 勢登実氏
関東倶楽部対抗千葉予選第2会場である成田ゴルフ倶楽部での熱い戦い、誠に疲れ様でした。各倶楽部の名誉を懸け、最後まで諦めずにプレーされた選手の皆様の真摯な姿に、深い感銘を受けました。当日のコースコンディションは、皆様の技量を最大限に引き出すべく、グリーンスピードやラフのセッティングを競技仕様に仕上げてまいりました。時折吹く風やシビアなピンポジションに苦しまれる場面も見受けられましたが、そのような難条件を攻略し、見事

なスコアを書き換えられた皆様の技術と精神力は、正に各倶楽部の代表に相応しいものでした。集計の結果、見事予選を通過し、決勝の切符を手にした各倶楽部の皆様、誠にありがとうございます。千葉第2会場の代表として、決勝の舞台でもその実力を遺憾なく発揮され、さらなる躍進を遂げられることを切に願っております。惜しくも次戦に届かなかった皆様も、本競技で見せた熱意とチームの絆は、必ずや今後の倶楽部ライフの糧となるはずです。



スタートに備えて準備万端のカート群

決勝進出

2位

習志野カントリークラブ



成田ゴルフ倶楽部

千葉第2会場

成田ゴルフ倶楽部

グリーンスピードやラフのセッティングを競技仕様に

予選競技

千葉第1会場

Aクラス：6542yards・Par72
Bクラス：6857yards・Par72
2026年5月15日（金）●参加倶楽部数：19●通過倶楽部数：2●競技方法：Aクラス4名、Bクラス4名出場、各クラス上位3名、計6名の合計スコア
ベストスコア賞
Aクラス：小林 隆寿（紫）74
森塚 実（カレドニアン）74
寒河江 義則（中山）74
Bクラス：久保田 祐樹（一の宮）72
上位3倶楽部
1位 中山カントリークラブ／472ストローク
2位 紫カントリークラブ すみれコース／476ストローク
3位 麻倉ゴルフ倶楽部／480ストローク



大勢の応援団が見守る1番ティーのスタート

決勝進出

1位

中山カントリークラブ

支配人 新井恵美氏
「2026年関東倶楽部対抗千葉第1会場予選競技」の開催にあたり、まずは準備にご尽力いただきました宮本貴夫競技委員長をはじめとする、関東ゴルフ連盟の競技委員の皆さまに心より感謝とお礼を申し上げます。皆さまのおかげをもちまして、大きなトラブルもなく無事に競技を終了することができました。当クラブでは、2024年に関東女子倶楽部対抗を開催いたしました。男子の開催は19年以来、7年振りとなります。当クラブは、20年日本オープンや22年日本女子オープンといったメジャートーナメントに加え、25年からは毎年3月

決勝進出

2位

紫カントリークラブすみれコース



10番ティーのスタート風景

にJLPGAトーナメントを開催するなど、ビッグトーナメントのホスト経験は豊富にございます。しかしながら、春シーズンのコースコンディション管理には、グリーンキーパーが常に頭を悩ませております。そのような中、歴史と伝統ある倶楽部対抗の開催に向け、当日まで一切の妥協なくコース整備に励んでまいりました。春先のコース管理はいわば「乾燥との戦い」であり、更新作業後の刈り高調整やコントロールが極めて重要となります。おかげさまで当日は天候にも恵まれて絶好のゴルフ日和となり、グリーン、フェアウェイともに素晴らしいコンディションを

提供できたと自負しております。一方で、当クラブの特徴である「Mの字」のクラブハウスは、コンパクトゆえにスペースが限られており、ロッカールームや朝食会場の設営には大変苦労いたしました。何よりも嬉しかったのは、ホームコース開催というプレッシャーのなか、我がクラブが決勝まで駒を進めることができたことです。この結果を素直に喜びたいと思います。最後になりますが、全力を尽くして戦われた選手皆さま、本当にお疲れさまでした。そして参加倶楽部皆さまのご協力に心より感謝とお礼申し上げます。

千葉第4会場
予選競技



Aクラス：6384yards・Par72
Bクラス：6782yards・Par72
2026年5月18日（月）●参加倶楽部数：18●通過倶楽部数：2●競技方法：Aクラス4名、Bクラス4名出場、各クラス上位3名、計6名の合計スコア
ベストスコア賞
Aクラス：嶋野 菊治（加茂）76
柴崎 充雅（白鳳）76
松村 滋基（PGMマリア）76
Bクラス：伊藤 健志（PGMマリア）73
上位3倶楽部
1位 袖ヶ浦カンツリークラブ／472ストローク
2位 加茂ゴルフ倶楽部／475ストローク
3位 浜野ゴルフクラブ／479ストローク



競技開始を待つ、早朝の10番ティー



決勝進出
1位

袖ヶ浦カンツリークラブ

支配人 畑中大志氏
PGMマリアゴルフリンクスは1988年4月に開場し、現在はGRAND PGMコースとして運営しております。ピート・ダイ設計の、PGMグループの中にもちろんのこと、関東屈指の難易度を誇るコースと自負しております。2023年に男子倶楽部対抗予選競技を開催させて頂いたとき、本年も3年ぶりの開催となり、大変な栄誉と感謝申し上げます。毎年、異常気象でコースコンディションを維持する苦労が多くありましたが、競技の開催が決定してからは、コース管理

チームを中心としてコースコンディション向上を目指し、日々準備をしてきました。ピート・ダイ設計の難易度の高いコースレイアウトとなっているので、至らない点は多々あったかと思いますが、よりフェアな競技ブレイが提供できるよう努めました。当日は大変な天候にも恵まれ、多くのギャラリイも来ていただきました。競技開催にあたり事前準備から競技終了までご尽力いただきましたKGA露木実競技委員長、委員の皆様をはじめ参加倶楽部の選手、関係者皆様には心より感謝申し上げます。



決勝進出
2位

加茂ゴルフ倶楽部



応援に駆けつけたPGMマリアのメンバー



Aクラスのベストスコア賞の松村滋基選手 (PGMマリア)



PGMマリアゴルフリンクス

千葉第4会場
PGMマリアゴルフリンクス
ピート・ダイ設計
関東屈指の難易度を誇る

千葉第3会場
予選競技



Aクラス：6393yards・Par72
Bクラス：6768yards・Par72
2026年5月11日（月）●参加倶楽部数：19●通過倶楽部数：2●競技方法：Aクラス4名、Bクラス4名出場、各クラス上位3名、計6名の合計スコア
ベストスコア賞
Aクラス：樋口 朋夫（姉ヶ崎）75
Bクラス：高橋 拓耶（PGM総成）75
尾崎 貴将（総武）75
上位3倶楽部
1位 総武カントリークラブ／470ストローク
2位 姉ヶ崎カントリー倶楽部／474ストローク
3位 平川カントリークラブ／479ストローク



夏を思わせる青空の下でパッティング練習



決勝進出
1位

総武カントリークラブ

支配人 椎名英輝氏
関東倶楽部対抗千葉第3予選競技は天候にも恵まれ、無事に競技を終了することができました。これをまずはご報告申し上げます。当倶楽部は昭和63年9月の開場以来37年を迎え、これまで数多くのトーナメントやアマチュア競技を開催してまいりました。競技開催の際はベントグリーンを使用することが多かったのですが、今回は昨年6月に草種転換を行ったバミューダグリーンで初めて競技をお引き受けすることになりました。倶楽部対抗は過去にも

複数回開催しており、事務局としての準備には慣れた部分もございます。しかしながらコースメンテナンス、特に施工から1年に満たない「赤ちゃんのような芝」であるバミューダグリーンをいかに良いコンディションに仕上げるのが大きな課題でした。千葉の各ゴルフ場を代表する選手の皆様をお迎えするにあたり恥じることはない状態に整えるべく、コース管理部が一丸となって準備に取り組んでまいりました。その結果当日はステインプメーター11.25ftというコンディションを実現することができ、コース管理部スタッフ一同にとっても大きな自信につながる機会となりました。



決勝進出
2位

姉ヶ崎カントリー倶楽部

した。競技当日は各倶楽部代表選手の皆様が応援団の声を背に、厳しいコースコンディションの中で熱戦を繰り広げ大いに盛り上がりを見せました。結果は総武カントリークラブ様、姉ヶ崎カントリー倶楽部様が見事決勝への切符を手に入れました。最後になりますが、競技開催にあたり事前準備から当日運営までご尽力いただきました伊藤誠委員長をはじめ、委員の皆様、心より御礼申し上げます。また参加倶楽部代表選手の皆様、応援にお越しいただいた関係者の皆様のご協力に深く感謝申し上げます。



平川カントリークラブ

千葉第3会場
平川カントリークラブ
バミューダグリーンでの初競技
ステインプ11.25ftの実現に自信

去る5月15日、当倶楽部において「2026年度関東倶楽部対抗東京会場予選競技会」が開催されました。当倶楽部での開催は開場59年の節目を迎え、実に13年ぶり4回目となります。

伝統ある本競技の舞台として、再び当コースが選ばれたことを大変光栄に感じるとともに、身の引き締まる思いで当日を迎えました。

競技の開催にあたっては、選手の皆様が最高のパフォーマンスを発揮できるよう、入念なコース

整備を積み重ねて参りました。また、キャディをはじめとするスタッフ一同も、ミーティングを幾度も重ね、運営のシミュレーションとホスピタリティの向上に努めて準備を整えて参りました。

競技当日は幸いにも

絶好の天候に恵まれ、各倶楽部を代表する14倶楽部・選手の皆様による熱戦が繰り広げられました。おかげさまで、大きな事故やトラブルもなく、円滑に全競技を終了することができましたのは、関係各位の多大なるご協力の賜物と深く感謝しております。

最後になりますが、厳正な競技運営にご尽力いただきました新井陽一競技委員長をはじめ、KGA（関東ゴルフ連盟）委員の皆様、そして素晴らしいプレーを披露してくださった参加14倶楽部の選手の皆様に、心より敬意と感謝の意を表し、開催倶楽部支配人としてのご挨拶とさせていただきます。

Aクラス：6399yards・Par72
Bクラス：6399yards・Par72
2026年5月15日（金）●参加倶楽部数：14●通過倶楽部数：1●競技方法：Aクラス4名、Bクラス4名出場、各クラス上位3名、計6名の合計スコア
ベストスコア賞
Aクラス：飯島 雄介（東京国際）72
Bクラス：中村 潤（立川国際）71
牧野 純也（府中）71
竹内 規晃（東京国際）71

上位3倶楽部
1位 東京国際ゴルフ倶楽部／443ストローク
2位 府中カントリークラブ／451ストローク
3位 青梅ゴルフ倶楽部／452ストローク



3番ホール（南コース3番）のティーショット風景



決勝進出
1位

東京国際ゴルフ倶楽部



GMG八王子ゴルフ場



競技を終えたプレーヤーを迎える選手・応援団



熱い応援が続く10番ティー

5月12日（火）、当クラブ西コースにて、2026年度関東倶楽部対抗神奈川第1会場予選競技を開催いたしました。当クラブでの開催は2019年以来

となり、その間、西コースでは昨年開催したPGA TOUR「ベイカレントクラシック」をはじめ各種トーナメントを開催するなど、コースコンディショニング向上と競技環境の整備に努めてまいりました。

当日は晴天のもと14倶楽部112名による熱戦が繰り広げられ、相模原ゴルフクラブが1位となりました。また、7年ぶり出場となった開催倶楽部である当クラブは3位と健闘いたしました。



横浜カントリークラブ

Aクラス：6472yards・Par72
Bクラス：6730yards・Par72
2026年5月12日（火）●参加倶楽部数：14●通過倶楽部数：1●競技方法：Aクラス4名、Bクラス4名出場、各クラス上位3名、計6名の合計スコア
ベストスコア賞
Aクラス：深澤 幸助（鎌倉）75
Bクラス：有我 栄一郎（相模原）70
上位3倶楽部
1位 相模原ゴルフクラブ／460ストローク
2位 鎌倉カントリークラブ／477ストローク
3位 横浜カントリークラブ／479ストローク



練習グリーンに隣接して、
右手に1番ティー、左手奥に10番ティー



決勝進出
1位

相模原ゴルフクラブ



練習グリーン越しの1番ホール



名物ホールのひとつ、12番パー3



広々としたスペースのレストラン



3階建てのドライビングレンジ

静岡会場

予選競技

Aクラス：5935yards・Par71
Bクラス：6601yards・Par72
2026年5月8日（金）●参加倶楽部数：30●通過倶楽部数：3●競技方法：Aクラス3名、Bクラス3名出場、各クラス上位2名、計4名の合計スコア
ベストスコア賞
Aクラス：秋山 佳輝（伊東）71
山下 明史（富士チサン）71
Bクラス：園田 昂生（大熱海国際）73
平石 武（函南）73
上位3倶楽部
1位 太平洋クラブ御殿場コース／295ストローク
2位 葛城ゴルフ倶楽部／301ストローク
3位 沼津ゴルフクラブ／302ストローク



Aクラスのスタートホール。駿河コース1番ティ

決勝進出

1位

太平洋クラブ御殿場コース

決勝進出

2位

葛城ゴルフ倶楽部

決勝進出

3位

沼津ゴルフクラブ



駿河コース1番のスタート風景



一時霧が立ち込める場面も

静岡会場

多くの応援団による熱い声援
倶楽部対抗ならではの緊張感を実現

沼津ゴルフクラブ 愛鷹・伊豆・駿河コース

神奈川第2会場

予選競技

Aクラス：6331yards・Par72
Bクラス：6596yards・Par72
2026年5月12日（火）●参加倶楽部数：15●通過倶楽部数：1●競技方法：Aクラス4名、Bクラス4名出場、各クラス上位3名、計6名の合計スコア
ベストスコア賞
Aクラス：菅原 稔（中津川）74
Bクラス：久保谷 和明（レインボー）72
松田 永浩（清川）72
松田 永基（清川）72
深澤 佑介（神奈川）72
上位3倶楽部
1位 清川カントリークラブ／457ストローク
2位 レインボーカントリー倶楽部／461ストローク
3位 戸塚カントリー倶楽部／462ストローク



選手・応援団がずらりと並んだ愛川コース1番ティ

決勝進出

1位

清川カントリークラブ



相模野カントリー倶楽部



相模コース10番ティ後方のスタート風景



愛川コース9番グリーン



青空が広がった早朝の練習グリーン

神奈川第2会場

相模野カントリー倶楽部
最良のコンディションを提供すべく
スタッフ一同懸命に作業

愛川・相模コース

支配人 小林啓士氏
当倶楽部は昭和51年5月に開場し、今年50周年を迎えます。そんな記念すべき年に平成16年に続き関東倶楽部対抗予選競技を開催させていただきましたことを大変光栄に存じます。

競技開催に向けて選手の皆様方に最良のコンディションを提供すべくグリーンキーパーならびにコース管理課スタッフ一同懸命に作業を進めて参りました。当日は、ステインプメーター10・5ft、コンパクション24という仕上がりとなりました。

そんな中、愛川・相模コースを舞台に15倶楽部総勢120名のクラブ代

表選手が出場して絶好の天候のもと熱戦が繰り広げられました。選手達の真剣なプレーとギョラリィの歓声が響き渡る中無事に競技が終了できました事を本当に感謝申し上げます。

1位で通過されました「清川カントリークラブ」の選手の皆様、本当におめでとうございます。決勝でのご活躍をお祈り致しております。

最後になりましたが、本競技開催にあたりご尽力いただきました関東ゴルフ連盟の皆様、担当競技委員の皆様並びに各倶楽部の選手及び関係者の皆様に感謝申し上げますと共に心より御礼申し上げます。

ルール

Q

&

A



「JGA ゴルフルールチャンネル」

一般ゴルファーが処置に迷うことが多いルール上の問題に、規則委員会が分かりやすく回答。

「アウトオブバウンズ、球の紛失と暫定球」



Q

Q1：1番ホールで、私の第1打目は大きく曲がりアウトオブバウンズの方へ飛んでいきました。その球は、捜索を開始して2分経過したときに見つかりました。よく見ると、アウトオブバウンズを示す境界線を示す線に球の一部が触れていて、残りの部分はインバウンズ側にある状態で止まっていた。私の第1打目はアウトオブバウンズになるのでしょうか。

Q2

その後、セカンドショットも球が大きく曲がり「紛失」の恐れもあったので、暫定球をストロークしようと思い、同じ組のプレーヤーに「もう一回打ちます」と宣言し、別の球をストロークしました。しかし、別のプレーヤーに「それは暫定球のプレーを宣言したことにはならないよ」と言われてしまいました。この場合、暫定球のプレーを宣言したことにならないのですか。

Q3

次のホールで第1打をストロークしたところ、球は深いブッシュの方へ飛んでいったので、紛失するかもしれないと思い、暫定球を宣言しストロークしました。その後、球の捜索を開始して3分以内に元の球が深いブッシュの中で見つかりました。しかし、とてもそこからプレーするのは不可能に思えたので、その球は紛失したことにして、フェアウェイの真ん中にある暫定球の方でそのホールのプレーを続けたいのですが、認められますか。

A

A1：この場合、球全体がコースの境界線の外側にはないので「インバウンズの球」となります。アウトオブバウンズの境界線は地面の上方と下方の両方におよびます。
(参照：ゴルフ規則書 P177 規則 18.2a 図)



A2：暫定球をプレーする際は、宣言しなければならず、プレーヤーが別の球をプレーすることを明確に示しておらず、そのプレーヤーは「ストロークと距離」の罰に基づいて球をインプレーにしたことになります。

を単に言うだけでは十分ではありません。明確に示す宣言として「暫定」という言葉を使うことが望ましいですが、「念のため別の球をプレーします」という宣言は暫定球をプレーすることとみなされます。しかし、「もう一回打ちます」や「別の球を打ちます」という言葉は暫定球をプレーすることを明確に示しておらず、そのプレーヤーは「ストロークと距離」の罰に基づいて球をインプレーにしたことになります。

A3

この場合、見つかった元の球でプレーを続けなければなりません。元の球がインバウンズで見つかったのに、良い場所にあるからといって暫定球の方をプレーすると「誤球」をプレーしたことになります。見つかった元の球がそのままストロークできない状態であったら、1罰打を付加し「アンプレヤブルの救済」を受けなければなりません。その場合、暫定球をアンプレヤブルの球の救済として代用することはできません。

キーワード：「紛失」「アウトオブバウンズ」「暫定球」

KGA 規則委員会では加盟倶楽部の皆様を対象に無料の規則説明会を開催しています（詳しくは事務局 畑までご連絡下さい）。

決勝競技出場倶楽部

インサイドストーリー

決勝競技に出場した42チームのなかから、今回は特別に強い感慨を持って臨んだふたつの倶楽部を紹介。

「平常心」をキーワードに古豪が復活の登場

中山カントリークラブ



決勝へ首位でいきなり地区今年、それが9位と低迷。昨年も9位と

1960年代から70年代にかけて3度の関東倶楽部対抗制覇を誇った千葉の古豪・中山カントリークラブが、9年（8大会）ぶりに決勝競技の舞台に戻ってきた。2位までが決勝に進める地区予選で、23、24年は二けた順位。

駒を進めてきた。佐々木呈逸支配人（写真右）は「黄金時代を知るレジェンドの先輩方からハッパをかけられていたので、本当に良かったです」と話す。

小林正幸監督（同左）は「これまで、力が足りなかったわけではなかった」という。「地区予選当日は慎重になりすぎるなど、よそ行きのゴルフをして、実力を発揮できない。一人が崩れると、伝播してしまっていた」と振り返る。そこで、プロに頼んで、メンタル面の考え方を教わるなど、「いかに自分のゴルフをするか」ということを話し合ったという。

地区予選の会場は、日本オーブンや日本女子オープンが開催された難コース、紫カントリークラブすみれコースだったが、9年前の決勝進出時もメンバーだった寒

「閉鎖ショック」にも屈せず、決勝競技に進出

矢板カントリークラブ

河江義則選手が74をマークするなど、全員が大崩れせず、乗り切った。

決勝は、残念ながら28位にとどまったが、寒河江選手は「チームは本当にいい雰囲気になっていく」と話す。名門の復活は、始まったばかりだ。

今年3月、矢板カントリークラブ内に激震が起きた。「2027年末で、クラブを閉鎖する」という知らせが伝えられたからだ。2023年の関東倶楽部対抗決勝競技で、栃木県勢として初めて「関東チャンピオン」に輝くという栄光から、わずか3年。28年からは、コースはソーラー発電所として生まれ変わる。今のゴルフ場を取り巻く、厳しい経営状況が背景にある。経営陣としても苦渋の決断だっただろう。

八木沢辰也支配人（写真）は、「お叱りよりも、『残念だ』という声がほとんどでした。私ど



も同じ気持ちです。研修会員は、だが、表面的には動揺を見せなかった。

八木沢支配人は、「うちの選手たちは、すごく仲がいい。通知した後も、きちんと研修会を開催し、研鑽を積んでいました」。

昨年の地区予選は、まさかの4位で決勝進出を逃したが、「矢板」の文字が入った新しいユニフォームを作って臨んだ今年の地区予選は、2位で決勝進出をつかんでみせた。3年前の「関東制覇」の原動力になった張田巧選手は、地区予選で69をマークして決勝進出に大きく貢献した。

決勝競技は、24位だったが、張田選手の顔は明るかった。「みんな、来年も頑張ろうと言っています。次は本当の最後。Bクラスの手の方々も関東月例に出るなど努力を続けています。必ず、有終の美を飾りますよ」。

ゴルフ振興委員会医学部会 アンケート調査ご協力をお願い

ゴルフ振興委員会医学部会では、昨年度に引き続き、コース管理やキャディー等の屋外労働従事者対象の『高温時の屋外労働』に関するアンケート調査と新たに65歳以上のシニアゴルファー向けに『健康生活習慣』に関する調査を実施しております。

ご協力いただける方は、館内やマスター室等に掲示のチラシ・ポスターに記載されている「QRコード」、または下記QRコードからアンケートサイトへアクセスをお願いいたします。

いずれも実施期間は、2026年9月15日～10月15日です。

※本調査は、回答される方の自由意志でご協力をお願いするものです。

※通信費をご負担いただく可能性もありますが、ご了解のほどよろしくお願いいたします。



屋外労働
QRコード



シニアゴルファー
QRコード



ジュニア強化委員会 「TEAM KGA ジュニア」活動報告

ジュニア強化委員会は、この夏も「TEAM KGA ジュニア」の選手たちの心技体を磨く充実したプログラムを実施しました。

7月26日（日）～28日（火）の3日間、朝霧ジャンボリーゴルフクラブにて夏季強化合宿を開催し、中学生選手16名（男女各8名）が参加しました。期間中、各練習場でのスキルアッププログラムはもちろん、普段なかなか経験することのないマッチプレー（シングルス／フォアサム／フォアボールの3形式）による男女のチーム戦を行い、心身ともに一回り大きく成長を遂げる実り多き時間となりました（写真左）。

さらに8月11日（火）には、西那須野カントリー倶楽部にて「合同ラウンド研修会」を実施しました。この研修会には、同ジュニア出身で現在はプロとして目覚ましい活躍を続

ける岩井明愛・千怜姉妹から温かい差し入れが届くサプライズもあり、憧れの先輩からのエールに選手たちの士気は大いに高まりました（写真右）。

富士の裾野と那須の自然の中で仲間と切磋琢磨し、自身の課題と向き合ったジュニアたち。この夏に得た経験と感謝を胸に、さらなる高みを目指して挑戦を続けます。



「KGA GOLFER'S NEWS」をいつもお読みくださりありがとうございます。

今号は倶楽部対抗特集号になります。まず、見事2年ぶり6度目の栄冠に輝いた新千葉カントリー倶楽部、そして長野県勢初の快挙となる初優勝を成し遂げた南長野ゴルフ倶楽部の皆様、誠におめでとうございます。

本競技も予選から数多くの倶楽部、そして多くの

選手各位にご参加いただき、各会場で素晴らしい熱戦が繰り広げられました。

競技を大いに盛り上げてくださった全ての参加倶楽部、選手各位、ならびに多大なるご協力をいただきました関係者の皆様に、心より厚く御礼申し上げます。次号もどうぞお楽しみに。

（広報委員長 近藤勇樹）

どの道を選択しても 前を向いていれば

人生には分岐点がいくつも訪れる。例えば高校野球。青春を燃やし尽くした3年生の夏を終えれば、新たな選択肢が待っている。トップクラスの選手ならプロ、大学、社会人などで野球を続けるだろう。だが、その陰には新たな道に踏み出す選手も多々いる。



（写真／岡田美智子委員）

ゴルフも例外ではない。2026年の関東女子倶楽部対抗決勝競技で、7年ぶりに決勝に進出した河口湖カントリークラブのメンバーとして出場した四分一珠莉香選手（25歳）。チームは16位に終わったが、自身は南長野ゴルフ倶楽部を初優勝に導いた岸田姉妹の姉・真衣奈選手の68、妹・妃奈乃選手の69に次ぐスコア70をマークした。

た。自身も上智大のエースとしてチームを引っ張っていたが、女子ゴルフ界の層の厚さを目の当たりにし、その後のプロテスト受験を経て「プロはもういいかな」と、大学卒業後は外資系総合コンサルティング会社に入社し、就職。社会人ゴルフとして踏み出すことを決め、結婚もした。

大学時代は経済学部経営学科の授業で経団連とコラボする「グローバルビジネスの現状と課題」を受講し、いろいろな企業の関係者と関わる機会に恵まれたという。

「社会人になつてからは、ゴルフを通じて交流を広げることができています。ゴルフがもっとつまくなれば交流の幅



（写真／高野佳子委員）



KGAGOLFER'S NEWS

2026年9月30日発行

KGAGOLFER'S NEWS No.150

発行所／一般社団法人 関東ゴルフ連盟

〒104-0061 東京都中央区銀座8丁目18番11号

銀座SCビル4階

TEL 03-6278-0005 FAX 03-6278-0008

ホームページ <https://www.kga.gr.jp>

発行人／吉田裕明 編集／広報委員会



新千葉カントリー倶楽部

〒283-0001

千葉県東金市家之子2177

TEL : 0475-52-4341



南長野ゴルフ倶楽部

〒381-2701

長野県長野市大岡中牧274-1

TEL : 026-266-2000